

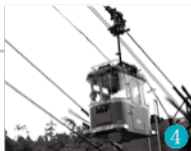


HAKUBA VILLAGE

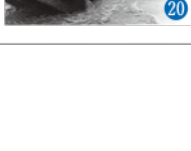
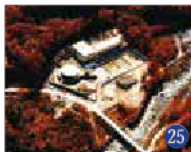
— 白馬村村制70年のあゆみ —

白馬村70年のあゆみ

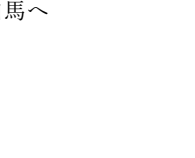
1956 → 1971

1956 (昭和31年)	9月30日 11月	神城村と北城村が合併し白馬村となる。 ^① 庁舎は旧北城村役場を使用、神城村役場を支所とする。 ^② 初代白馬村長に太田新助氏が当選する。	 ^①  ^②
1957 (昭和32年)	5月 7月 8月15日 10月	第1回白馬村議会議員選挙が行われ、議長に北沢幸義氏が就任する。 集中豪雨231mm、70町歩冠水、被害額1億1千万円、谷地川、木流川が氾濫する。 大糸線全線開通する。 ^③ 通吊橋完成。	 ^③  ^④
1958 (昭和33年)	5月 12月	飯森に11町歩の開田完成。 八方尾根に白馬ケーブル架設される。 ^④ 白馬村に初めてテレビ入る。	 ^⑤  ^⑥
1959 (昭和34年)	3月 7月 9月	白馬中学校建設、4月から開校となる。 信濃四ッ谷駅まで電化完成。 ^⑤ 台風15号のために松川堤防決壊。北城小学校他、家屋流出浸水114戸。 被害額は2億9千万円にのぼり国の災害救助法の適用を受ける。 ^⑥ 県道糸魚川線2級国道148号となる。	 ^⑦  ^⑧
1960 (昭和35年)	7月 10月	森上駅まで電化が進み、飯森駅営業開始。佐野民宿で都会学生の合宿始める。学生村の始めである。 村長選挙、太田新助氏再選。	 ^⑨
1961 (昭和36年)	10月 12月	森上一新宿間に定期準急列車走る。 全村有線放送電話設置 ^⑦ ／白馬村公民館新築完成	
1962 (昭和37年)	4月 8月	平川・松川直轄砂防工事に着手 ヘリコプターによるいもち病の空中防除始まる。	
1963 (昭和38年)	1月 3月 4月 8月 10月	昭和31年4月の着工以来7か年を要した平川源太郎の第二砂防堰堤完成 第41回全日本スキー選手権アルペン競技大会八方尾根で開催／島津貴子さんご来臨 白馬高校が県立校となる。 河野建設大臣、平川・松川の砂防視察に来村。／白馬小唄できる。 都市計画事業始まる。ヘリコプターによる夏山物資輸送、別荘分譲地造成始まる。	 ^⑩  ^⑪
1964 (昭和39年)	3月 4月 8月 10月 12月	野平・嶺方分校廃止／平川橋のかさあげ工事完了 神城・北城小学校名を廃止、それぞれ白馬南・白馬北小学校に改称 皇太子殿下同妃殿下ご来臨、八方尾根登山 ^⑧ ソフトボール全国大会開催 村長選挙、太田新助氏三選 信濃四ッ谷駅前都市計画、中高層ビル完成／国民宿舎八方池山荘完成 ^⑨	
1965 (昭和40年)	7月	松川氾濫、大出21戸床上浸水	 ^⑫  ^⑬
1966 (昭和41年)	3月 8月 9月 10月 11月	常陸宮殿下御夫妻八方尾根へスキーにご来遊 みそら野別荘団地開村式。 ^⑩ 太田村長の村葬白馬中学で行われる。 村長選挙、松沢安蔵氏当選／村内の国道148号全線舗装化 白馬～長野線全通／児童館新築完成	
1967 (昭和42年)	2月 4月 5月 9月 11月	第45回全日本スキー選手権大会、八方尾根で開催 信濃四ッ谷駅前広場都市計画工事完成 雨降らず、ポンプ30台ホース1万mを購入し揚水するが、作付けできない田がある。 白馬村章決まる。 白馬村合併10周年記念式典	 ^⑭  ^⑮
1968 (昭和43年)	2月 7月 10月	第23回国体スキー競技会八方尾根で開催され、高松宮殿下ご来臨 ^⑪ 70m級白馬シャンツェ完成 ^⑫ 中学校にプール完成／信濃四ッ谷駅を白馬駅に改名 ^⑬	
1969 (昭和44年)	8月	集中豪雨襲来、被害額2億6300万円	 ^⑯
1970 (昭和45年)	10月 12月	村長選挙、松沢安蔵氏再選 白馬電報電話局新設、電話自動化になる。／白馬駅新築完成	
1971 (昭和46年)	3月 6月 12月	南部保育所完成 白馬南小にプール完成 白馬北小学校改築	

1972 → 1983

1972 (昭和47年)	3月 6月 12月	白馬～新宿間特急列車走る。 ¹⁴ 白馬北小にプール完成 白馬南小学校改築		
1973 (昭和48年)	2月 9月	第10回全国中学生スキー大会、岩岳で開催 ¹⁵ 広域基幹林道(白馬～小谷東山線)着工		
1974 (昭和49年)	8月 9月 12月	神城地区県営圃場整備事業着工 ¹⁶ 村長選挙、横沢裕氏当選 上水道第1次拡張工事完成		
1975 (昭和50年)	3月 11月	中部・北部保育所完成 ¹⁷ SBC・NBS白馬サテライト局開局／白馬小谷衛生センター完成		
1976 (昭和51年)	3月 6月 8月 9月 10月 12月	白馬村総合計画策定 直轄砂防事業15周年記念式典 高校総体登山競技会開催 ¹⁸ 合併20周年記念式典 ¹⁹ 国保診療所改築完成 森上駅前広場整備される。／上水道神城地区統合される。		
1977 (昭和52年)	11月	八方に40m級ジュニアシャンツェ完成		
1978 (昭和53年)	3月 4月 5月 6月 8月 9月	国保診療所で歯科診療始まる。 第57回全日本アルペンスキー競技会開催 白馬高校第1期改築工事に着手 水神宮橋流失 ²⁰ 白馬いこいの杜建設に着手。保養センター、グリーンスポーツ施設が建設される。 村営グラウンド夜間照明施設完成／村長選挙、横沢裕氏無投票再選		
1979 (昭和54年)	3月 8月 9月 11月	上水道第1期拡張工事完成 全国野外活動指導者会議開催 役場新庁舎2年計画で完成 平川橋、水神宮橋復旧工事に着手／松川橋完成／白馬村村民憲章制定される。		
1980 (昭和55年)	3月 4月 6月 8月 10月 11月 12月 12月29日	姫川平川合流点完成(村道深空吊橋完成) 防災行政無線完成、有線放送閉局 ²¹ グリーンスポーツの森にテニスコート完成 長野県植樹祭がグリーンスポーツで行われ、桜160本が植樹される。 衛生センターに酸化处理槽が増設される。 低温長雨の異常気象により凶作、被害額5億円余 平川橋完成 除雪ロータリー車購入／農業者トレーニングセンター完成 雪崩源太郎水源を襲う／水神宮橋完成		
1981 (昭和56年)	1月 8月 11月 12月	未曾有の豪雪で家屋の破損が相次ぐ。 ²² 白馬村多目的研修集会施設完成 塵芥収集車購入 農産物処理加工施設・多目的集会施設完成		
1982 (昭和57年)	1月 2月 4月 6月 7月 7月12日 7月22日～ 8月24日 8月 9月 10月 12月	長野県スキー大会週間 第1回FIS国際大会開催 突風により村内65戸が破損、被害総額は3億5千万円 NHK白馬FM局開局 深夜営業騒音規制区域となる。 静岡県河津町と姉妹都市提携 ²³ マンガ集団50周年記念行事としてマンガ王国イベントが開催される。 ²⁴ 図書館開設 上水道第2次拡張事業二股浄水場完成 ²⁵ 村長選挙、横沢裕氏三選／神城駅前広場整備完成 白馬岳頂上宿舎完成／TSB白馬サテライト局開局 歴史民俗資料館、林業資料展示施設完成 雪上車・除雪車を購入 飯森踏切立体交差化工事完成		
1983 (昭和57年)	1月 4月 6月	長野県スキー大会週間 B&G白馬海洋センター完成 県営かんがい排水事業平川地区竣工		

1984 → 1990

1984 (昭和59年)	3月 7月 8月 10月31日	財団法人白馬村振興公社設立 農業者トレーニングセンター完成 集中豪雨が白馬東部を襲い、被害額は6億6千万円余 国道148号佐野～四ッ谷区改良舗装工事完成 和歌山県太地町と姉妹都市提携 26	
1985 (昭和60年)	3月 6月 6月～7月 12月	姫川源流「名水百選」に選ばれる。 白馬小谷清掃センター完成 大北広域消防北部分署完成 県営ほ場整備事業神城地区竣工 梅雨による被害続出、被害額13億4千万円 村の人口8000人となる。 27	
1986 (昭和61年)	2月 3月 8月 9月 10月 11月 12月	第35回全国高校スキー大会開催 白馬村第2次総合計画策定 白馬村合併30周年記念式典 村長選挙、横沢裕氏四選 白馬大橋完成 28 白馬村社会福祉協議会が法人化(郡下初) 飯森地区県営ほ場整備事業着工 1998年冬季オリンピック招致の「スローガン」「シンボルマーク」決定 NHK白馬ラジオ中継放送局開局	
1987 (昭和62年)	2月 4月 6月 8月 8月2日～ 8月9日 10月 11月 12月	第42回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催 29 白馬村南部農業者トレーニングセンター完成 野外彫刻シンポジウム開催 村道0105号線(新田～八方間)「日本の道百選」に選ばれる。 JIFAS(冒険とスポーツの国際映画・映像祭)白馬村初開催 30 村道0105号線竣工 31 オリンピック白馬村推進協議会設立 第1回白馬村差別をなくす村民大会開催 ふれあいの杜公園造成工事に着手 冬季オリンピック招致推進村民大会開催 国道148号森上バイパス完成 オリンピック計画書をJOCへ提出 白馬連山と風吹大地が長野の自然百選に認定	  
1988 (昭和63年)	2月 3月 4月 6月 7月 8月	白馬北小学校第1期改築工事(中校舎)完了 屋外広告物の規制開始(村内5路線が対象) 「オリンピック招致県縦断燈火リレー」(長野県早起き野球連盟主催)白馬へ 日本オリンピック委員会(JOC)オリンピック競技会場予定地を視察 国土調査事業開始 1998年冬季オリンピック国内候補地「長野」に決定 オリンピック招致準備室設置 浩宮さま百名山登山で五竜岳にご来臨	
1989 (平成元年)	1月 3月 4月 6月 10月 11月 12月	「オリンピック少年少女友の会(旭川・盛岡・山形・長野)」設立 松川流路工事に着手 第8回ジュニアオリンピック競技大会開催 白馬北小学校改築工事(南側管理等)完了 大北広域消防北部分署を大北広域北部消防署と改称 白馬村農業体験実習館完成 白馬村「土地監視区域」に指定される。 ふれあいの杜完成 景観形成基本計画策定事業に着手 県認可により下水道事業に着手 白馬村多目的スポーツセンター完成	
1990 (平成2年)	2月 4月 7月 8月 9月 10月 11月	世界ブrossキー選手権大会(日本初)開催 オリンピックアルペン競技男子スーパーG・男子滑降会場予定地となる。 白馬小谷衛生施設組合を白馬山麓環境施設組合と改称(美麻村加入のため) 白馬ジャンプ競技場工事に着手 「白馬村外交官」養成講座スタート 農業集落排水事業に着手 海外通話が可能な公衆電話を村内6箇所に設置 村長選挙、西沢泰氏無投票初当選 公共下水道事業(大出終末処理場及び管渠工事)着工 32 IOC委員のモナコ皇太子がオリンピック競技予定地を視察	

1991 → 1997

1991
(平成3年)

- 2月 白馬名産セレクトフェア開催(グランプリに白馬紫米)
- 3月 国際オリンピック委員会(IOC)調査団来村、競技予定地を調査
- 4月 第64回全日本学生スキー選手権大会(インカレ)開催
- 5月 平川流路工第一期工事完了
- 6月 スパイクタイヤが使用禁止となる。
- 7月 第6回JIFAS開催
- 8月 1998年冬季オリンピック開催地「長野」に決定 ③③
- 9月 台風19号、家屋の損壊等村内に被害もたらす。
- 10月 白馬駅前「気象標示板」情報提供開始
- 11月 オリンピック道路白馬ルート発表
- 12月 オリンピック推進委員会設立
- 白馬ラベルのビール、日本酒(夢白馬・白馬憧憬)発売
- 国道148号に無散水融雪工事(白馬高校入り口から大橋川まで)完了



1992
(平成4年)

- 1月 白馬雪彫まつり開催
- 2月 ABN白馬サテライト局開局
- 3月 白馬いこいの杜スポーツアリーナ完成
- 4月 嶺方簡易水道拡張工事完了
- 5月 全日本スキー選手権大会開催
- 6月 改正白馬村開発基本条例施行
- 7月 ハインリッヒ・C・ベラン氏とパノラマ面作成の調印
- 8月 株式会社夢白馬(第3セクター)設立
- 9月 AET事業開始
- 10月 森上跨線橋完成
- 11月 白馬ジャンプ競技場完成 ③④
- 12月 白馬村オリンピック選手育成委員会設立



1993
(平成5年)

- 2月 オリンピック子どもフォーラム開催
- 3月 白馬南小学校校舎増改築工事完了
- 4月 第8回JIFAS白馬大会開催
- 5月 大出区・白馬町区・八方口区の一部において公共下水道が供用開始となる。
- 6月 白馬ジャンプ競技場オールシーズン化工事完了
- 7月 白馬村保健福祉ふれあいセンター完成

1994
(平成6年)

- 2月 エコランド地区が村内初となる景観形成住民協定地に認定される。
- 3月 第1回白馬の雪祭り開催
- 4月 オオタカ保護条例制定
- 5月 オリンピック旗・パラリンピック旗歓迎セレモニー開催
- 6月 長野オリンピックボランティア第一次募集
- 7月 村長選挙、福島信行氏当選
- 8月 クロスカントリー競技場建設工事に着手
- 9月 第1回FISサマージャンプ大会開催

1995
(平成7年)

- 2月~3月 全日本スキー選手権大会開催
- 4月 第10回JIFAS開催
- 5月 県北部豪雨、24時間の降水量291mmを観測し村内多数の被害 ③⑤
- 6月 白馬中学校全面改築工事に着手
- 7月 松川端に雇用促進住宅完成



1996
(平成8年)

- 3月 FISワールドカップアルペン男子スピード系競技開催
- 4月 白馬村第3次総合計画策定
- 5月 特別養護老人ホーム「白嶺」が広域施設として完成
- 6月 白馬村在宅介護支援センター・デイサービスセンターが白嶺に併設し完成
- 7月 景観形成住民協定が各地で締結される。
- 8月 道の駅白馬完成
- 9月 初の神城・北城合同村民運動会を開催
- 10月 白馬村合併40周年記念式典
- 11月 オリンピック関連道路白馬ルート開通
- 12月 白馬中学校全面改築工事完了 ③⑥
- 姫川源流と親海湿原、他9か所が関川姫川水百選に認定



1997
(平成9年)

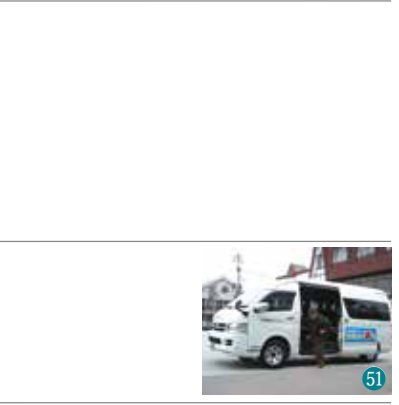
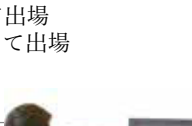
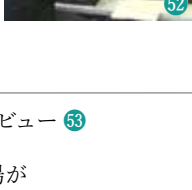
- 1月~3月 オリンピック・パラリンピック前大会として、各種ワールドカップスキー大会・国際障害者クロスカントリースキー競技会が開催される。
- 4月 平成元年10月に指定された国土利用計画法による「監視区域」が解除される。
- 5月 オリンピック100日前イベント
- 6月 災害後の復旧により大糸線全線開通
- 7月 青木湖バイパス開通 ③⑦
- 8月 神城駅全面改築工事完了
- 9月 オリンピックカウントダウンイベント



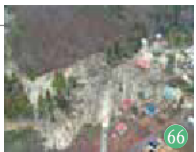
1998 → 2004

1998 (平成10年)	1月23日	オリンピック聖火リレー		
	2月7日~ 2月22日	第18回オリンピック冬季競技大会 ③8		
	3月1日	パラリンピック聖火リレー		
	3月5日~ 3月14日	第7回パラリンピック冬季競技大会		
	4月	白馬村営長野駐車場利用開始 ウイング21完成 ③9		
		オリンピック・パラリンピック成功祝賀会開催 上村愛子選手・丸山直也選手に白馬村スポーツ栄誉賞を授与 ④0		
	7月	ノルウェービレッジにオリンピック記念館オープン		
	8月	村長選挙、福島信行氏無投票再選		
	9月	戸籍をコンピュータ化		
	10月	旧法務局白馬出張所に白馬村図書館開設		
1999 (平成11年)	2月	オリンピック1周年記念セレモニー		
	4月	訪問看護ステーションはくば開設 まちづくり環境色彩計画を策定		
	7月	ジャンプ競技場にオリンピックモニュメント完成 ④1		
	8月	シルバー人材センター白馬事務所完成		
	10月	青鬼地区 棚田百選に認定 ④2		
	12月	大出吊橋、青鬼地区が信州のサンセットポイント百選に認定 白馬診療所に人口透析施設完成 ミディウムヒルジャンプ台完成		
2000 (平成12年)	2月	北アルプス広域連合設置される		
	4月	白馬村指定居宅介護支援事業所開設		
	6月	ウイング21にクライミングウォール完成 中部保育所に子育て支援ルーム開設 ④3		
	7月	情報公開条例施行 北信越国体山岳競技開催		
	8月	オリンピック記念誌発行 レッドデータブック発行		
	11月	神城メモリアルパーク完成(サンサンパーク白馬)		
	12月	青鬼地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定される		
2001 (平成13年)	3月	白馬村第3次総合計画(後期計画)策定		
	4月	介護老人保健施設白馬メディア完成		
	7月	オーストリアレヒ村と友好協定締結		
	9月	白馬北小放課後児童クラブ開設		
	10月	白馬村観光推進本部スタート		
2002 (平成14年)	1月	豪雪対策本部設置		
	5月	白馬北小学校体育館完成		
	7月	村長選挙、福島信行氏三選 白馬小径が遊歩百選に認定		
	8月	ドイツのオーバーヴァーゼンタール市と友好都市協定締結		
	12月	松川景観モデル事業、松川流路工事完了		
2003 (平成15年)	2月	ふるさと切手「信州の花」に白馬村の村花カタクリが認定 白馬南小学校体育館完成 ④4		
	3月	白馬のまちづくりマスタープラン策定		
		白馬診療所リハビリ棟完成		
	5月	村誌「白馬の歩み」完結 大出吊橋完成		
		第54回長野県植樹祭 ふるさとの森づくり県民の集い開催		
	7月~8月	白馬Alps花三昧2003開催 ④5		
	7月	白馬南小学校プール完成 ④6		
	10月	白馬小谷任意合併協議会設立 ④7		
2004 (平成16年)	3月	2005年スペシャルオリンピックス(SO)冬季世界大会・プレ大会開催		
	4月	白馬村観光局発足 野平地区農業集落排水処理場完成		
	7月	白馬村と小谷村の合併に関するアンケートの結果白馬小谷任意合併協議会の解散 公的個人認証サービス開始		
	12月	白馬北小学校東校舎増築工事完了 白馬除雪基地完成		

2005 → 2014

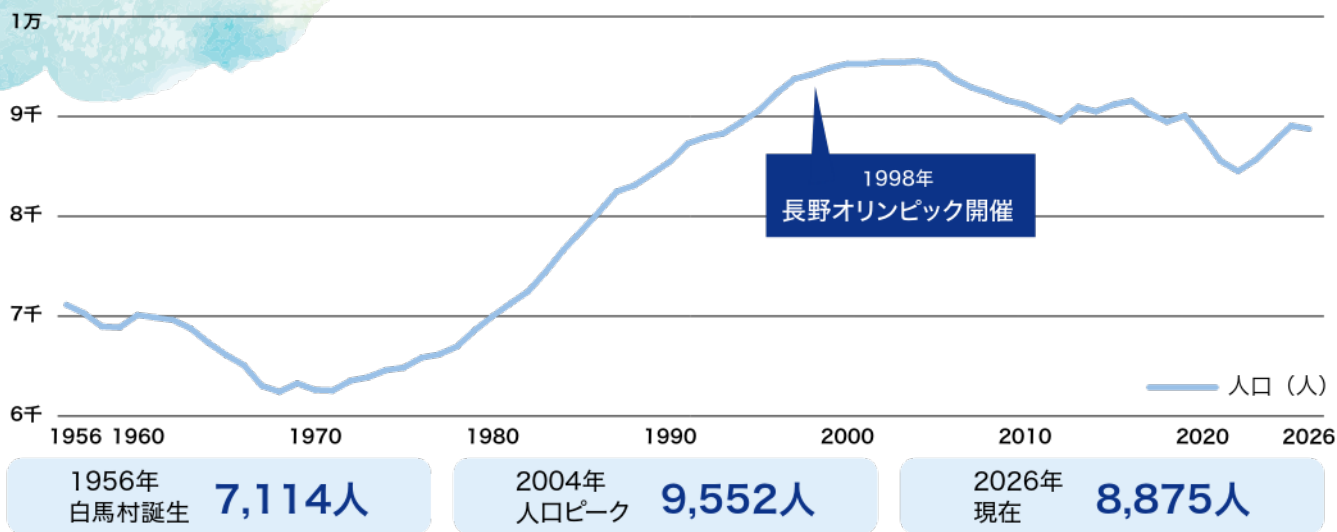
2005 (平成17年)	2月 2005年スペシャルオリンピックス(SO)冬季世界大会開催 48 3月 東京農業大学と地域振興に係る連携協定を締結 8月11日 白馬大雪渓上部(杓子岳天狗菱)で土砂崩落 49 12月 ミディウムヒル改修工事完了	 
2006 (平成18年)	1月 豪雪対策本部を設置「平成18年豪雪」災害救助法適用 3月 白馬村第4次総合計画策定 4月 白馬南小放課後児童クラブ開設 白馬村地域包括支援センター開設 7月 村長選挙、太田紘熙氏当選 7月22日 白馬大雪渓上部(秋道)で土砂崩落 9月 白馬村合併50周年記念式典 10月 信州大学山岳科学総合研究所と地域振興に係る連携協定を締結	
2007 (平成19年)	3月 白馬村地域観光振興計画策定 北部保育園・中部保育園閉園 4月 しろうま保育園開園 50 白馬村営農支援センター開設 7月 日本オリンピック委員会(JOC)より白馬ジャンプ競技場および 白馬クロスカントリー競技場が2010年まで「スキー競技強化センター」として認定される 9月 白馬村国民保護計画策定 白馬南小学校耐震補強工事完了／白馬北小学校耐震補強工事完了	
2008 (平成20年)	3月 南部保育園閉園 6月 白馬北小学校プール完成 上村愛子選手に村民栄誉賞(第1号)を授与(2007～2008W杯総合優勝) 7月 事務事業評価制度導入 8月19日 白馬大雪渓上部(秋道)で土砂崩落 10月 白馬中学校開校50周年記念式典 11月 デマンド型乗合タクシー試験運行開始 12月 古民家再生事業として庄屋「まるはち」完成	
2009 (平成21年)	2月 第58回全国高等学校スキー大会開催 白馬高校男子総合2位、男子クロスカントリーリレー優勝 4月 白馬村乗合タクシー「白馬ふれ愛号」運行開始 51 5月9日 白馬岳(お花畑北斜面)で山林火災発生 8月 ふるさと白馬応援隊発足	
2010 (平成22年)	2月 バンクーバーオリンピックに白馬村から関係選手6名が日本代表として出場 3月 バンクーバーパラリンピックに白馬村から関係選手2名が日本代表として出場 8月 村長選挙、太田紘熙氏再選 10月 ケーブルテレビ白馬試験放送開始	
2011 (平成23年)	3月 白馬村第4次総合計画(後期計画)策定 4月 ケーブルテレビ白馬が正式に開局 52	
2012 (平成24年)	2月 2012ジャパンパラリンピッククロスカントリー競技大会開催 7月 B&G海洋センタープールリニューアルオープン 9月 白馬スキーの日(2月8日)制定	
2013 (平成25年)	2月 白馬村キャラクター「ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世」がデビュー 53 4月 白馬村議会議員選挙(52年ぶりの無投票) 9月 文部科学省より白馬ジャンプ競技場及び白馬クロスカントリー競技場が ノルディック複合競技のナショナルトレーニングセンター強化拠点施設に指定 10月 『白馬村社協ディサービスセンター「岳の湯」』開所	 
2014 (平成26年)	2月 ソチオリンピックに白馬村から関係選手5名が日本代表として出場 渡部暁斗選手がノルディックスキー複合個人にて銀メダルを獲得 3月 ソチパラリンピックに白馬村から関係選手1名が日本代表として出場 4月 ソチオリンピック・パラリンピック出場選手凱旋パレード、報告会、表彰式並びに祝賀会を開催 54 渡部暁斗選手に村民栄誉賞(第2号)を授与(ソチオリンピックノルディック複合銀メダル) 上村愛子選手にスポーツ特別功労賞(第1号)を授与(フリースタイルモーグル5大会連続入賞) 7月 村長選挙、下川正剛氏当選 白馬ジャンプ競技場スタートタワー内に「白馬オリンピックギャラリー」がオープン 10月 白馬高校スーパーバイザー委嘱式を開催 11月 長野県神城断層地震災害の発生 ※平成26年11月22日(土曜日)午後10時8分頃 55 安倍総理大臣被災地視察のため来村 12月 応急仮設住宅の完成と入居の開始	 

2015 → 2026

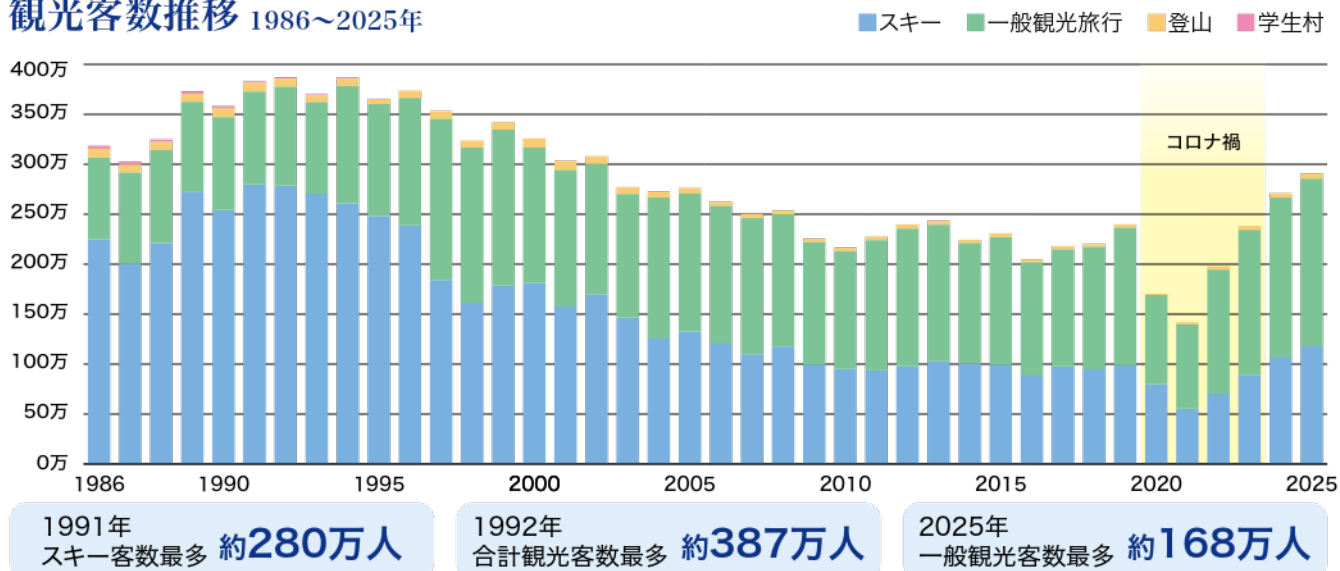
2015 (平成27年)	4月	信州大学と防災、スポーツ振興、地域振興、教育及び人材育成等に係る全学連携協定を締結	
	6月	長野県、県教育委員会、小谷村と白馬高校の国際観光科設置と全国募集に関する連携協定を締結 56	
	7月	白馬クロスカントリー競技場に「多目的コース」を設置	
	9月	富山県朝日町と災害時応援協定を締結 ヤフー株式会社と地域活性化に係る連携協定を締結 白馬高校公営塾を開講 白馬村消防団、堀之内区・三日市場区自主防災組織が防災功労者内閣総理大臣表彰受賞 神城断層地震復興祈念行事の開催	 56
2016 (平成28年)	11月		
	3月	白馬高校教育寮「しろま Pal House」開寮 白馬村第5次総合計画策定	
	4月	白馬高校国際観光科開科 57	
	5月	堀之内地区「堀之内高齢者支え合いセンター」完成	
	6月	神城断層地震の被災者のための村営住宅着工	
	8月	秋篠宮殿下が応急仮設住宅を訪問	
	9月1日	SBドライブ株式会社と自動運転技術に係る連携協定を締結	
	10月	白馬大雪渓ルート雪不足のため通行禁止 白馬村制施行60周年記念式典 平川小水力発電所竣工 震災復興村営住宅竣工(堀之内地区・三日市場地区・白馬町地区)	 57
2017 (平成29年)	2月	第72回国民体育大会冬季大会(長野銀嶺国体)スキー競技開催 58	
	8月	地方創生人材支援制度により藤本副村長就任	
	9月	ふるさと納税を活用した白馬高校の取り組みが表彰される	 58
2018 (平成30年)	2・3月	平昌オリンピック・パラリンピックに白馬村関係選手5名が出場	
	4月	渡部暁斗選手がノルディックスキー複合個人ノーマルヒルで銀メダル獲得 渡部暁斗選手にスポーツ特別功労賞を授与	
	8月	村長選挙、下川正剛氏再選	
	12月	白馬村学校給食センター完成 59	 59
2019 (令和元年)	7月	藤本副村長退任	
	8月	JOCジュニアオリンピックカップ 2019全国ユース選抜マウンテンバイク大会開催 レッチ村公式代表団表敬訪問	
	10月	唐松沢雪渓が日本国内で7番目の現存氷河と確認される 60	 60
2020 (令和2年)	5月	Snow Peak LAND STATION HAKUBA 開業 61	
	7月	長野県旅館ホテル組合会白馬支部と「白馬村災害時における宿泊施設の臨時避難所使用に関する協定」締結	
	9月20日	大雪渓ルート通行止め	
	10月	B&G体育館改修工事完了	 61
2021 (令和3年)	1月	長野県新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベル5の指定を受ける	
	3月	白馬村第5次総合計画(後期計画)策定	
	4月	東京2020オリンピック聖火リレー開催 62	 62
2022 (令和4年)	2月	北京オリンピック・パラリンピックに白馬村関係選手5名が出場	
	4月	ノルディック複合団体で銅メダル獲得 渡部暁斗選手にスポーツ特別功労賞、渡部善斗選手に村民栄誉賞(第3号)を授与	
	7月	村長選挙、丸山俊郎氏当選	
	11月	恋人の聖地第3回地域活性化対象2022年 環境大臣賞受賞	 63
2023 (令和5年)	1月	東海大学1年生の花岡寿哉選手が白馬村初の箱根駅伝に出場	
	4月	白馬村観光大使に国本梨紗氏が就任 63	
	10月	白馬村がUNWTO(国連世界観光機関)ベスト・ツーリズム・ビレッジに認定 64	
	11月	白馬村観光大使に上村愛子氏が就任 65	
	12月	みそら野地区黒豆沢において土砂災害発生 66	 65
2024 (令和6年)	8月	パリオリンピックスケートボードパーク種目に永原悠路選手が出場。 白馬村初の夏季オリンピック出場となった。	
	11月	11月22日を「白馬・小谷地震防災の日」に制定	
	12月	第3の居場所『はくばのそらいろ』が開設	 66
2025 (令和7年)	1月	杓子沢雪渓・不帰沢雪渓が日本国内で8番目・9番目の現存氷河と確認される 67	
	11月	白馬村・小谷村で使用できる地域通貨『アルプスPay』の運用を開始	 67
2026 (令和8年)	3月	白馬村第6次総合計画策定	
	7月	村長選挙、丸山俊郎氏再選 白馬沢雪渓が日本国内で10番目の現存氷河と確認される	

統計データ

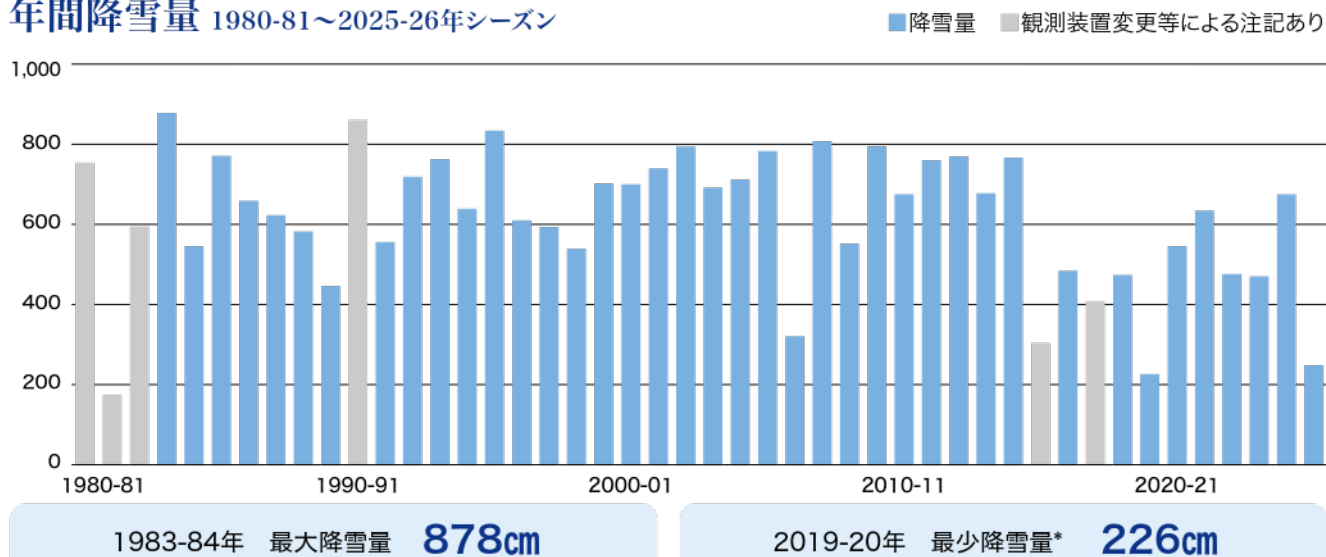
人口推移 1956～2026年



観光客数推移 1986～2025年



年間降雪量 1980-81～2025-26年シーズン



*観測注記ありの年を除く実測最小値

70年間の日々 25,567日

1956年(昭和31年)9月30日から2026年(令和8年)9月30日まで

白馬村の気象 (S53.11~)

最高気温 (H6.8.16)

36.2℃

最低気温 (S56.1.31)

-18.7℃

最深積雪 (S55.12.28)

187cm

24時間最大降水量 (H7.7.11)

188mm

白馬村の面積

189.36km²

長野県(77市町村)

22位

全国(1,741市区町村)

673位

歴代村長

8人

太田新助	昭和31年11月12日から	昭和41年8月26日
松澤安蔵	昭和41年10月16日から	昭和49年10月15日
横沢 裕	昭和49年10月16日から	平成2年10月15日
西沢 泰	平成2年10月16日から	平成6年6月27日
福島信行	平成10年8月7日から	平成18年8月6日
太田紘熙	平成18年8月7日から	平成26年8月6日
下川正剛	平成26年8月7日から	令和4年8月6日
丸山俊郎	令和4年8月7日から	現在

人口の変化

合併時/1956年(昭和31年)

7,114人

+24.8%

現在/2026年(令和8年)

8,875人

毎年4月1日時点での人口が最も多かった年は2004年(平成16年)の9,552人ですが、毎月1日時点での人口が最も多かった月は、2026年(令和8年)2月1日時点の9,861人となっています。

※平成24年8月から住民基本台帳法の改正により外国籍住民の皆さんも住民基本台帳に記載されています。

2026年(令和8年)9月号で

600号

1970年(昭和45年)9月に発行を開始しました。
当初は年1、2回発行をされていました。合併70周年の
今年広報はくばも記念すべき600号を迎えました。



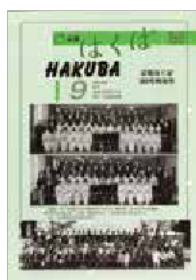
▲ 1号



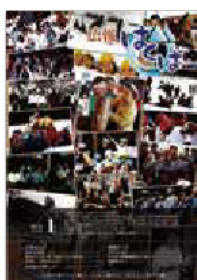
▲ 100号



▲ 200号



▲ 300号



▲ 400号



▲ 500号

4都市

河津町(静岡県)／1982年(昭和57年)、
太地町(和歌山県)／1984年(昭和59年)、
レッチ(オーストリア)／2001年(平成13年)、
オーバーヴィーゼンタール(ドイツ)／2002年(平成14年)



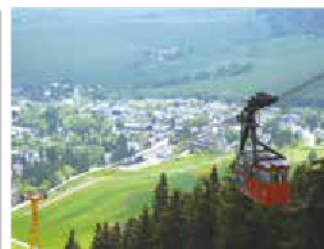
河津町(静岡県)



太地町(和歌山県)



レッチ(オーストリア)



オーバーヴィーゼンタール(ドイツ)

ふるさと納税受入額

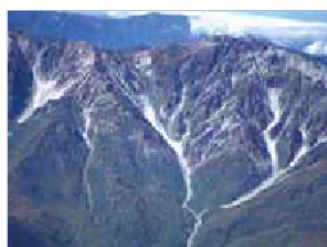
2008年度(平成20年度)から2025年度(令和7年度)まで

11万9298件

45億9060万5627円

2008年度(平成20年度)からふるさと納税を開始して
からこれまでの間、多くの皆さまからこれだけの寄附金
をお寄せいただきました。

お寄せいただいた寄附金を活用し、白馬村の美しい環境
の保全や白馬高校の魅力づくりに関する事業など様々な
取組を進めています。



村 民 憲 章

わたくしたちは、北アルプスの山なみにいだかれて生きる、白馬村民です。

白馬岳・姫川に象徴される 豊かな自然風土は、わたくしたち白馬村民のいのちです。

わたくしたちは、村の歴史をとうとび、未来を語り、さらにすばらしい村にする願いをこめて、ここに村民憲章を制定します。

- 一 自然に学び風雪に耐えて 力強く生きましょう
- 一 先祖の遺産を受け継ぎ 地域に根ざした文化を築きましょう
- 一 あたたかい心を育て 明日をつくる喜びをわかちましょう
- 一 美しい山河を守り 住みよい村をつくりましょう
- 一 白馬の土と人を愛し 来訪者をあたたかく迎えましょう

(昭和 54 年 11 月 1 日制定)



第 6 次 総 合 計 画 基 本 理 念

共に生き 豊かさを育む

支え合いと幸せがめぐる Best Living Village

白馬村の財産は、豊かな自然環境と、この地に住む私たち村民です。

豊富で良質な水資源や固有種・希少種も含めた生物多様性等の豊かな自然環境、雄大な山岳景観と里山の田園風景、そして白馬村民の暮らしの営みの中で育まれてきた歴史や文化、村民性は、白馬村の象徴となっています。

自然と共に生きること、そして人々と共に生きすることは、これまでも、これからも、白馬村民の大切な価値観です。自然環境の豊かさも、心の豊かさも、人とのつながりなどの社会的な豊かさも、経済的な豊かさも、みんなで育み、みんなで享受・共有することが、白馬村民の幸せにつながります。